

## 令和6年度第5回安城市地域ケア推進会議

日時 令和6年11月21日（木）

午後1時30分～午後3時

場所 社会福祉会館 3階 会議室

### 1 会長あいさつ

暑い夏が終わったと思ったら急に寒くなり体調を崩される方もいるようだが、インフルエンザの流行にも気を付けていきたい。

### 2 議題

(1) 地域ケア個別会議、地域ケア地区会議の取り組み状況について（資料1）

事務局)

(資料1) に沿って説明

保健福祉部会)

担当地域は高齢化率が高い地域と低い地域が混在している。一番感じるのは、昔からのお互い様という気持ちが薄れてきていること。まだお互い様の意識が強いところもあるが特に若い世代、他の地域から来た住民の方は交わっていけないと考える。ミニシルバーのようなものが地域にできれば制度や福祉サービスなどを利用しなくても支援していけるのではないかな。ゴミ出しや買い物、草取りのような日常生活の中で出てくるような支援ができるところが街にできればいいと思う。

様々な問題を地域の専門職の方と一緒に解決に向けて活動しているのが現状。なかなかアンケートでは困っていないという回答でも実際は困ったことがあり、包括の業務外のことも相談を受ける。それが地域でカバーしてもらえると住み慣れた地域でその人らしくという生活が続けられるのではないかな。

保健福祉部会)

地域福祉を担当しており、地域ケア地区会議と連動して生活支援ネットワーク会議を開催している。各福祉センターに生活支援コーディネーターが2名ずつ配置されている。生活支援コーディネーターは地域の支援ニーズと取組のマッチング、関係機関のネットワークづくり、社会資源の把握・地域で不足するサービスの創出・担い手の養成と資源開発を行っている。昨年度の令和5年度は29回のネットワーク会議を開催した。すべてが地域ケア地区会議と連動しているわけではないが、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターが連動して合同で開催する場合もある。生活支援に関しては町内福祉委員会をはじめ地元の方に参加していただいたが、地区の中に温度差があり、地域の中に困りごとを抱えている人はいないという意見もあった。否定的な町内福祉委員会からは担い手の問題もあがったが、住民主体の生活支援、いわゆるお助け隊ができつつあるので地域のニーズに合わせた支援をしていきたい。

地域での効果的な見守り活動について考えるというテーマで地域ケア地区会議、ネットワーク会議を合同開催し、住民からアイデアだしをしてもらった。例えばこども110番登録のお店に見守りを働きかける、小学生の下校時の見守りを通学路沿いの工場へ依頼する、駄菓子屋さんに声をかける、町内の組長など地元の住民へ制度理解を深めるなどの意見が出た。

災害時に向けたケアマネジャーと民生委員の連携というテーマでも合同開催した。民生委員、ケアマネジャー双方より交流できる機会があってよかったという声をいただいている。住民と専門職をつなぐことも重要だと考えているので各部会の皆さまにもお声かけする機会があると思うのでその際はお願いしたい。

#### ケアマネット部会)

困難事例が多いが問題解決できたらいいと思い時々参加している。少しでも長く在宅で生活できるように取り組んでいる。

#### リハビリネット部会)

町内見守り活動の中で地域の資源の共有をしたり、町内会での困り事を専門職の視点から見、実際の対応方法を相談したりした。

#### デイネット部会)

難しいのは問題の抽出の部分だと思う。各住民が問題を抱えていても外に出すのは恥だと思う人もいる。問題があっても答えられず抽出ができない場合もあるが、デイサービスは利用者と触れ合う機会が多いのでデイサービス利用中に困りごとを見つけて地域にフィードバックしていく支援ができると思う。

#### 会長)

認知症高齢者の問題が大きい。医師は病気の診断はするが普段の生活の実態は見えにくいので、会議への参加はいい機会であった。

#### 歯科医師会部会)

高齢者の移動について話をしていたが、歯科医院は通院してもらおう立場なのでその方がなぜ通院できないかの考えに及ばなかった。サービスの体制を整えていくなど考えることができた。

#### 薬剤師会部会)

薬剤師に相談していただけるといいことでも、薬が飲めないことを相談していいのかと考えている方もいることがわかり、できないことも相談していいと発信していく必要があると感じた。

#### 衣浦東部保健所)

共通する課題があつたら合同で会議を開催するなどの活動ができるのは幅が広がってよい。

聞き方によって「問題ないですか」と聞くと「ない」と反射的に言ってしまうこともある。実際に活動している中で困りごとなどを把握したら次につなげることが重要。

## (2) 情報共有・意見交換

- ・入院時情報提供書の様式の変更について（資料2）

入退院連携の手引き

ケアマネット部会)

（資料2）に沿って説明。

令和6年4月から医療連携の強化をということで厚生労働省から入院時情報提供書の見直しがあった。ケアマネット部会としてひな形について検討をした。意向の確認は誰とどんな内容だったのかということが新たに加わっている。認知機能の状況についてはかなり細かく情報提供書をするようになっている。必要時はケアマネジャーの判断でアセスメントシートの添付をする。入院時に早く帰りたいという方が、実はペットがいるからということがあるのでペット飼育の有無も追加された。

病院部会)

在宅の状況は病院のスタッフはほとんど知らないことが多い。これからもしっかりと連携を取っていききたい。

薬剤師会部会)

服薬状況に関して伝えたいことも多いので特記事項のスペースがもう少しあると良い。

ケアマネット部会)

その他の資料として服薬情報を別で添付する予定。

事務局)

事前に安城更生病院地域連携室よりいただいている意見でも、病院として特に詳しく知りたい内容として、患者さん、家族の価値観や意思表示などがあれば共有していただけると、意思決定支援に役立てられる。また、身体生活機能の状況について排泄の内容の詳細を記載してもらえると支援について検討しやすいとのことだった。

また、入退院連携の手引きについては病院でもなかなか活用に至っていない現状があるが、より活用できるものにしていくために改善、修正をしたいので各部会からご意見いただきたい。

- ・人生会議の取り組みについて（11月30日（いい看取り・看取られ）は人生会議の日。）

在宅医療・介護連携推進のための研修会実施報告（訪問看護ネットワーク部会）（資料3）  
事務局)

（資料3）に沿って説明。

アンフォーレ2階の図書情報館に11月28日まで人生会議のブースを設けている。

#### 訪問看護ネットワーク部会)

10月23日に安城市民会館にて「みんなで作ろう。わたしノート」というテーマで在宅支援者を対象に研修を開催した。ケアマネジャー、ヘルパーを中心に48名の参加があった。

わたしノートについて全部を埋めようとしなくもいいということ、どのように書いていけばいいか勉強になったという意見があった。

#### 連絡事項

- ・令和7年度地域ケア推進会議について（資料4）
- ・令和6年度検討テーマ報告書・令和7年度研修企画案及び検討テーマについて（資料5）  
（検討テーマのみ 提出期限：2月28日（金）まで）

- ・在宅医療・介護連携推進のための研修会（小規模多機能部会）

日 時 令和6年12月13日（金）午後6時から午後7時まで

場 所 安城市民会館 第4会議室

内 容 事例検討を通じて小規模多機能サービスへの理解を深める

- ・自立支援サポート会議

日 時：令和6年11月28日（木）午後2時～ ハイブリッド開催



↑会議録を確認  
できます

次回 令和6年12月19日（木）午後1時30分～3時 社会福祉会館 3階 会議室